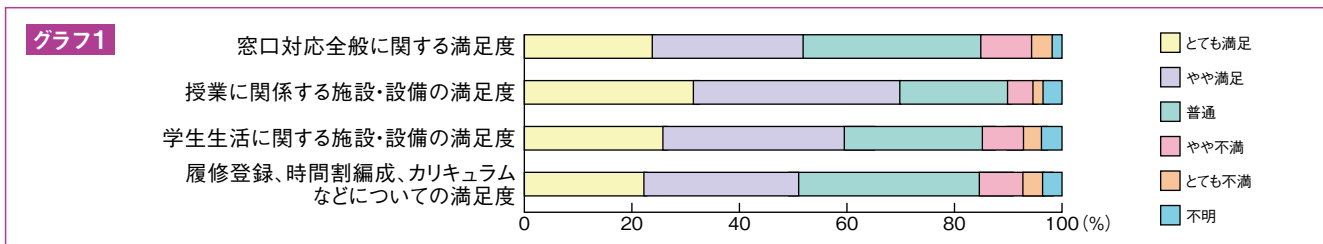


2012年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2012年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2013年1月7日から17日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員が学生に直接配付し、それ以外の学生には自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、郵送により提出する方法をとりました。また大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・院生のみなさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて対象とした8,240名の内、3,365件のデータを回収することができ(回収率:約40.8%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は「グラフ1」の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討および改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2012年度の教育環境改善報告

■窓口対応など

- 各職員は「窓口対応スローガン」、「窓口対応ガイドライン」を励行するなどして、これまでに引き続き、学生対応業務の改善に努めました。また、各種の教育・学生支援業務については、可能な限り改善、拡充しました。
- 情報基盤やシステム環境を強化、改善し、PorTa(ポータルサイト)の不具合や接続トラブル等の抑制を図るとともに、トラブル時の即応性の強化を図りました。

■教育施設

- 大学、社会が消費する資源やエネルギーに「持続可能性」をもたせるための取組として各種の節電施策を推進する一方、学内の教育環境にも配慮し、教室温度の安定化やエレベーターおよびエスカレーターの再稼働を行いました。
- グラウンド、テニスコートについて、一般学生への利用案内を行いました(学生センター内トレーニングルームについては現在調整中)。

■学生生活施設

- 新たな部室棟、新たな一般学生の生活拠点として、「学生センター」が竣工しました。
- 学生センター内にサンドイッチチェーン店「SUBWAY」がオープンしました。
- 敷地に亀裂等が発見された学外研修所(新甲子セミナーハウス/福島県西白河郡)を一時休館にしました。
- 完全分煙を推進し、学内4か所にある喫煙所の状況調査、分煙パトロールなどを実施しました。
- 大学校地に隣接する伝右川の親水護岸エリアの整備を進めました。
- 芝生広場と学生食堂内がソフトバンクの公衆Wi-Fiスポットになりました。

2. 2012年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■窓口対応について

窓口対応については、まだまだ改善の余地はあると考えます。職員の資質向上に向けてはスタッフ・ディベロップメント(SD)活動として、研修などを今年度も実施します。また、各課では業務目標を設定し、引き続き教育・学生支援をはじめとする各種業務の改善にも取り組みます。

■教育施設・学生生活施設について

教室棟については、4棟、5棟など比較的古い教室棟に関する指摘や要望がありましたが、緊急性や重大性を伴うものでない限り、2017年度の完成を目指している西側新教室棟の建設をもって対処します。天野貞祐記念館、東棟に関しては、基本的に前向きに評価するコメントが寄せられていますが、建物内の空調・室温について改善を求めるコメントも目立ちました。空調など電力消費の大きい施設については、資源やエネルギーの

「持続可能性」や公的機関として大学が果たすべき社会的責務を意識しながら改善に取り組んでいきたいと考えています。また、教室棟内の情報インフラ(無線LAN化)に関しては、順次整備を進めています。

- アリーナ、グラウンドについては、現状では授業やクラブ活動により、利用スケジュールは過密状態にありますが、時間帯によって一般学生もテニスコート、グラウンドを使用することができています。今後は、各施設がより効率的に利用されるようにしていきたいと考えています。また、これらの施設については、安全点検を行い、適宜、対応を図りたいと思います。
- 学生食堂については、本学は学生食堂のほかに「食」の提供スペースを分散化させることで、昼食時の混雑解消や、ランチスタイルの多様化に努めています。また、メニューの改良や品数の充実、店舗誘致については、大学は各店舗の運営企業に対して経営努力を求め、企業側も8～9月、2～3月の学生利用減少期や輸入原材料の高騰にともない提供価格の限界を超えています。現価格維持に努力しています。「食」の向上を図るうえで、価格の議論は避けて通ることができませんが、大学としてはできるだけ、各種要望を実現できる方策を考えたいと思います。
- 学生センターについては、学生の期待や要望の強さが窺えました。竣工直後は、利用に際して不便や煩雑さを感じさせた点が多かったと認識しています。現在、大学では、学生センターの運営や使用に関するルール整備を進めています。今後の運営や使用にあたっては、コメントにある意見なども取り入れながら、改善を図っていきたくと考えています。
- 学外研修所については、現在、再開発が進められている松原団地跡地の一部に、新しく研修機能を持つ大学施設の建設を構想しています。具体的な場所や施設内容については構想段階のため提示することはできませんが、現在の学外研修所のあり方とあわせて、今後、検討していくことになるかと思っています。

■その他

- 学生センター内のトレーニングルームについては、2012年10月より、スポーツ・レクリエーションの授業で利用されています。一般学生の利用については、2013年度中には開放できるよう、関連部署で調整を進めています。
- 学内での喫煙については、喫煙者・非喫煙者の双方から意見が出されています。現在の喫煙に関する大学の方針は「完全分煙」であり、学内4か所に吸煙機能付きの喫煙所を設置するなどこれを推進していますが、2013年度にはこの方針を見直すかどうか、検討することになっています。検討にあたっては、これまでの分煙活動の実績として喫煙所の利用状況、マナー違反者の状況のほか、喫煙者・非喫煙者の意見や健康面など、さまざまな要素をふまえて結論を出すことになると思います。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。